



第二回「華咲く作品展」開催へ 苑内各ユニットへ案内開始

利用者様の様々なオリジナル作品を制作展示する、第二回「華咲く作品展」を開催することがこのほど決定し、苑内各ユニットに連絡・告知されました。

作品の提出は三月二十日までとし、昨年同様、苑内一号館地域交流スペースで展示し、広報紙「花の苑タイムズ」四月号に掲載します。また、秋に開催される予定の新高尾地区の文化祭（しんたかお祭り）にも参加し、展示していく予定です。



昨年開催した作品展

昨年開催した第一回作品展では、各ユニットから塗り絵、貼り絵、書道、写真、手芸の他、俳句や短歌等計二十八点、二十四名の利用者様が参加されました。皆様のご参加をお待ちしています。

春を呼ぶ節分行事を開催 賑やかに各ユニットで

各ユニットでは、二月三日の節分の日を迎える中、春への季節の変化を感じながら、利用者様の尚一層の健康を願い、諸行事を行いました。

このうち、ASユニットでは、邪気を払うとされる伝統的な豆まきを賑やかに行いました。またGSユニットでは、鬼に見立てたホットケーキを作って食べ、邪気払い

令和6年2月15日発行
第113号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL：027-329-7211
社会福祉法人健康生会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

地域情報

弥生時代の古墳・日高遺跡公園。発掘以来、新高尾地区では、地元の大切な文化財の保護に取り組み、中でも「日高遺跡公園をともに楽しむ会」（猿谷明会長）は日高遺



跡公園内の復元水田で市民参加による稲作体験や水田周辺の草刈り管理等を日頃から行なってきた。こうした取り組みに高崎市からこのほど、令和五年度高崎市文化財保護賞が授与されました。



『今、あみぐるみにハマってます』
三号館職員 坂井円香さん
ぬいぐるみの収集が高じて、今や「毛糸のあみぐるみ」に完全ハマっているのはGSユニット担当の坂井円香職員。
元々デイズニーが好きでグッズの情報を集めるため、とある雑誌を手にとり、あみぐるみの記事にクギ付けになったのが、六年ほど前。
身長が高く、一見スポーツ向きタイプに見えるが「実はまったくのインドア派です」と強調する坂井さん。ストレス解消はもっぱら家にこもり、毛糸とかぎ針を手に、あみぐるみの世界に浸っているそう。「手のひらサイズなら一日で仕上げちゃう」そうで、七、八時間連続で行うこともある



という優れた集中力。坂井さんは完成した作品を友人などに進呈したり、職場に飾ったりし、日頃から感謝されている一方、皆さんに喜んでもらうことで「モチベーションが上がります、ますます励んでいきたいです」と話していました。

運営推進会議開催

令和五年度第五回目の運営推進会議がこのほど開かれ、ご利用者入所状況や職員の充足率を踏まえ、施設の運営状況について報告・説明がありました。この他、施設内の感染症発生状況について、また地域交流について等々意見が交わされました。



ユニットだより

「春を呼ぶ伝統行事」

ASユニットでは、寒さと空つ風が一段と厳しい中、春を呼ぶ伝統行事とも言える、節分豆まきを行いました。

鬼退治用の甘納豆の小袋を皆さんそれぞれ握りしめて、職員扮する鬼を待ち構えていると、おもむろに鬼が登場！S様は鬼に投げるとかと思いきや、そつと手渡されていきました。それはどうも鬼役が女性職員だったのが理由のようでした。S様の優しさがにじみ出た一瞬でした。

この後、豆まきは「福は内！鬼は外！」と賑やかに進み、鬼との記念撮影では皆様それぞれの最高の笑顔でカメラに収ま



っていました。

この日は、二月に誕生日を迎える方の合同誕生日会を同時開催。伊藤様、瀧澤様、遊佐様、岡田様にプレゼントをお渡しし、皆様から祝福を受けました。

(A・Sユニット U)

「書初めで新年出発」

BCユニットの一月行事は、新年出発の意義を込めて書初めを行い、またどら焼きと甘酒を召し上がって頂き新年をお祝いしました。

書初めは、混乱の社会



情勢の回復を願い、また皆様の健康生活への願いを込めて『希望』の文字を選び、皆様に書いて頂きました。書道は久しぶりだと思いますが、皆様スラスラと書いておられました。

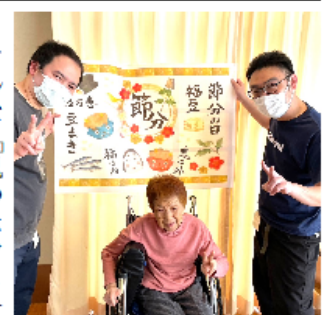
どら焼きと甘酒作りは、定番化しているものですが、この日もまた、福島様、反町様、間庭様には生地作りなどいつものようにお手伝いして頂きました。出来上がったどら焼きと甘酒は、この日も皆様に大人気で「あんこが美味しいね」と皆様大変満足そうでした。

またこの日の行事の中では、湯浅様、廣神様の誕生日をお祝いし、お菓子の詰め合わせやクッキーなどをプレゼントしました。

(B・Cユニット N)

「邪気払いの記念撮影」

GSユニットの節分行事は利用者様のリクエストにお応えし、ホットケーキ作りを行いました。生地を焼き始めると甘い匂いがユニット内に漂い「早く食べたいなあ」との声が聞かれる中、ホットケーキにチョコペンで鬼の目や口を、生クリームで髪の毛を描き、仕上げに餡子で角を作って『鬼のホットケーキ』の出来上がり。



そんな『鬼のホットケーキ』を見て「こんな可愛い鬼は食べられないね」と話す利用者様もいましたが、最後は「甘くて美味しい！」と大好評。その後、皆様が健康で幸せな一年でありますように、との願いを込めて職員が作った『写真スポット』の前で記念撮影を行い邪気払いを。皆様のたくさん笑顔が見られた節分イベントでした。

(G・Sユニット Y)

雪の中から福寿草が

(早春の高崎市染料植物園)



委員の一言メモ

★先日砂塩風呂に。葉草茶を飲み、発汗で新陳代謝が活発になり、心も体も癒されました(由)★我が家の節分。幼子には鬼の面は刺激が強く、泣いてしまいました(努)

★もうすぐバレンタイン。今年には板チョコ五枚くらいでいいよ！と言われたけど、ホントにそれでいいのだろうか(彩)★初詣に行けず、そろそろと思いつつ、今年も行かずに終わってしまえそう(麻)★イチゴが美味しい季節。イチゴスムージーにはまり、色々なファームを巡っています(山)★節分が終わります(山)★節分が終わります(山)★節分が終わります(山)

者様が喜んでくれるおやつを考えるのがとても楽しみ(芳)★久しぶりの雪道運転に緊張。もうすぐ花粉も多く飛び始めるのだとか。季節の変化が著しい2月です(美)★節分行事が終え、一気に春へと向かう中、閉ざされた雪の中から顔を出した福寿草をカメラに(井)